

すわみつえ通信

No.359 2025年4月28日

日本共産党鴻巣市議会議員
諏訪 三津枝



連絡先 鴻巣市赤見台3-2-7
TEL: 596-9440 FAX: 507-4151
携帯: 080-5039-2785
E-mail: mi-suwa@ezweb.ne.jp
mitsue-suwa@jcom.zaq.ne.jp

WEBで

すわみつえ



身近な議員として もっと届けたい声がある 声をかたちに

「楽しい学校にするにはどうしたらいいの？」学習交流会 Part2

講師の渡辺恵津子氏
(中央) 11月20日



「鴻巣の教育を考える会」が4月20日(日)に主催した学習交流会に参加しました。38年間小学校教諭として教育現場に携わり、現在も教育研究者として全国で講演を行っている元大東文化大学特任准教授の渡辺恵津子氏を講師に招いての第2弾です。

渡辺恵津子氏の講演は聴衆に「考え、行動してみよう」と勇気と元気を出させてくれるものでした。子育て中の方の参加がもっとあると良かったと思います。

▶日本の教育「3つの詰め込み」◀

1. 子どもを教室に詰め込む

35人学級(教育先進国は20人学級)

2. 子どもを勉強に詰め込む 学力テスト競争

「私が居ると平均点が下がるから、休みます」と学力テストの前日に言いに来る児童。こんな思いにさせる学力テストとは？

3. 先生を仕事に詰め込む

教員不足。「疲れている」「余裕がない」先生。いつの間にか先生がいなくなる職場。

▶「学校が楽しいところではない」ことが統計から見てくる実態◀

【不登校】 36万人(2023年) 小・中学生29.9万人
(小学生は10年前の5倍) 高校生6.5万人。

【いじめ】 68.2万人(小学校で急増)

【暴力行為発生件数】 9.5万件(対教師暴力で低学年急増、子ども同士の暴力で低学年に急増)

【子どもの自殺】 507人

【子どもの虐待】 21,917件

▶楽しい学校にするためにはどうする？◀

【何のための学校か】 教育とは、人をかけがえのない人間たらしめる営み。教育とは、educationの訳語で「持ち味を引き出す」【子どもたちの心の声を聴く】 人とつながる場所としての学校、遊び・学び場としての学校、安心の居場所としての学校を求めている。【大人たちができること】 学校教育に関わる問題を学び考え行動する。

どうする？どうなる？ごみ処理施設

4月13日投開票で行われた吉見町長選で、無所属新人で元町議会議長の神田隆氏が、現職の宮崎善雄氏を破り当選しました。神田氏は、新ごみ処理施設建設の財政上の問題も焦点にしてきただけに、鴻巣市・北本市との2市1町の枠組みで進める新施設への影響がどうなるのかどうするのか関心を持ってみたいと思います。

埼玉土建中部支部主婦の会 「第22回総会」で来賓あいさつ



4月26日(土)、埼玉土建中部支部主婦の会の総会で「物価高騰に策のない自公政権をこの参院選で終わらせよう」と、ご挨拶させていただきました。

毎週朝 駅頭においてホットなニュース「すわみつえ通信」をお届けします。

(月)吹上駅南口 (火)北鴻巣駅東口 (水)北鴻巣駅西口 (木)吹上駅北口 (金)鴻巣駅西口

フランシスコ・ローマ教皇死去 核兵器廃絶 紛争の平和解決訴え

キリスト教の中で最も多い教派、カトリック教会の最高指導者フランシスコ・ローマ教皇が4月21日、死去しました。88歳でした。アルゼンチン出身で、2013年に初めて中南米から選ばれた教皇でした。2019年に教皇として38年ぶりに訪日し、被爆地の長崎、広島を訪れ、核兵器の非人道性を訴え、核兵器禁止条約の推進や核兵器廃絶を呼びかけました。東日本大震災の被災者や青年とも交流しました。



バチカンのサンピエトロ広場に
フランシスコ・ローマ教皇の死去
後集まった巡礼者ら=21日



フランシスコ
・ローマ教皇
(ロイター)

バチカンでは核兵器禁止条約を17年にいち早く批准。同年の発言で、教皇は、核兵器の使用だけでなく、核兵器の保有も「断固として非難」しました。世界各地の紛争の平和解決や難民・移民の保護でも積極的に発言。イスラエルのガザ攻撃では、即時停戦と全人質の釈放を要求。ロシアのウクライナ侵略については、ロシアのプーチン大統領の核脅迫を「狂気の沙汰」と厳しく批判しました。軍事費の一部を飢餓や気候変動とのたたかいの資金に充てることなども一貫して訴えました。

13年には世界で貧困と格差が広がっている現状を批判し、「トリクルダウン(おこぼれ)理論」は「事実で確認されたことはない」と資本主義を批判したこともあります。イスラム教との対話にも尽力しました。

カトリック教会の負の遺産にも取り組み、22年のカナダ訪問では、カトリック教会の寄宿舎で先住民の子どもが虐待されたことについて「深くおわびする」と表明しました。【しんぶん赤旗 4月22日付】

『スマホ盗み見される?』 刑事デジタル法案の「電磁的記録提供命令」、ゆる動画 (YouTube) で解説 自由法曹団

「あなたのスマホが盗み見される?」—。令状1枚で本人が知らないうちに電子データを捜査機関が押収できる「刑事デジタル法案」が衆院を通過しました。この法案の危うさをセイウチとフクロウのキャラクターが解説した動画を自由法曹団が製作。活用を呼びかけています。セイくんとホウくんの棒読み口調でのゆるいやりとり。テーマは、刑事デジタル法案の中にある「電磁的記録提供命令」についてです。

「わかりやすくいうと、捜査差し押さえの電子空間バージョンだよ!」「(命令は、LINEなどの)メッセージアプリの会社とかに発せられるの」「その人の知らないうちに、その人の情報が差し押さえられてしまう可能性があるんだ」。4分半に、同命令の危険なポイントが凝縮されています。

「メールのやりとりを印刷するなど差し押さえる現行の制度が、法案では電子データを丸ごと差し押さえることができるようになります。捜査機関にとっては便利ですが、犯罪と無関係の人が知らない間に情報収集され、歯止めが利きにくいものとなっています」、こう語るのは、自由法曹団で動画製作に関わった久保木太一弁護士です。



動画「2025国会で成立目前?! あなたのスマホが盗み見される?『電磁的記録提供命令』とは何か」は、動画サイトYouTubeで見ることができます。

【しんぶん赤旗 4月22日付】